

よしだっうしん

吉田通信

第 17 号 【2016年2月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆「奇跡のレッスン」の指導者にみる4つの共通点◆

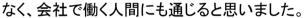
こんにちは!お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第17号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、皆さんは NHK の BS でやっております「奇跡のレッスン 世界の最強コーチと子供たち」という番組をご覧になられたことはありますでしょうか?各世界で活躍したプロスポーツの選手、監督が、そのスポーツをしている(日本の)小中学生の子供たちに、例えばバスケットボールやバレーボール、テニスやサッカーなどの1週間の特別レッスンをし、子供たちの変わって行く姿を追いかけるドキュメント番組です。

最初に見たときは、世界で活躍したプロが普通の子どもたちに教えるのは、レベルがあまりに違いすぎて、難しいんじゃないかと思っていました。ただ、この番組を"社員教育"という視点で見ていた知り合いがいて、私もそういう視点で見るようになりました。

実際、世界で活躍したプロが子ども達を教育していくと、みるみる成長していくのですが、そのレッスンには4つの共通点がありました。①「楽しんでいる」どうやって楽しんでいるかと言えば、ちょっとずつ難易度を上げ、達成感を味わわせていました。②「絶対に怒っていない」怒らずに褒めていました。③「目的、目標が明確」試合に勝つためという明確な目的を持った練習であり、また、個々人に(これができるようになるという)明確な目標を持たせていました。④「チームワークを大切にする」まわりとコミュニケーションを取って、まわりを活かすようにしていました。

番組内では、小中学生の子ども達へのレッスンでしたが、きっと大人達(プロ)へのレッスンも基本的には同じではないか?と思いました。そして、上記の4つの要素はスポーツ選手だけで





私は、世界で活躍した指導者でもなんでもありませんが、彼らから得た学びを 社員教育に活かしていけたらと思っています。「奇跡のレッスン」とってもいい番組 ですので、機会がありましたら、是非、ご覧になってみてください。

◆発行者コラム◆

先日、10数年ぶりにスキーに行きました。スキーをしたことがない長男(中2)が、学校でのスキー合宿を控え、事前のグループ分けのときに「自分はボーゲンができる」と書いてしまったそうなのです・・・。なので、合宿までにボーゲンができるようにならないと困るとのことで、急遽、ガーラ湯沢に行ってきました。長男は初心者レッスンを受けてボーゲンができるようになりましたが、自分で自分を追い込むというレッスン法もあるんだなぁと、長男から学びました(笑)。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが 090-3339-0424 までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前:吉田 竹史(よしだ たけし) 生年月日:昭和40年8月21日(O型) 出身地:新潟県白根市(現・新潟市南区)

経歴:都内の学校を卒業後、証券会社(水戸&ニューヨーク)の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味:上手くないゴルフ、強くない将棋 (NHKの将棋対局を見ることは好きです) 家族構成:妻、娘、息子



